

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	入居者が経年により重度化しているが、そのため退職してしまう職員が増加している。	これまでの日々の生活リハビリの活用を強化し、重度化を緩やかにする事により職員の負担軽減を図る。	規定より職員を増加し、カンファレンスにて意識を高める。	12ヶ月
2	13	内部研修は充実していると思うが、人員配置上外部研修参加が厳しい状況である。	一年の中で少しずつでも増やし、生きがい・やりがいを感じ取ってほしい。	一年間の計画を立て、参加出来るようにする。	12ヶ月
3	19	ご家族の負担を考え、多くを望んでいない。	ご家族との関係をこれまで以上に深め、QOL向上としたい。	ご本人の状況報告だけに止めず、あまり負担にならない程度の協力を仰ぐ。	12ヶ月
4	49	重度化傾向にあり、戸外への外出は運営者・職員の努力で何とか成り立っているものの、普段行けない場所までとはいかず。	日々の生活の中での喜びや意欲向上のため、お一人おひとりの希望を家族と相談・協力し実現したい。	夏頃までに一回は達成する。(重度の方は職員同伴)	8ヶ月
5	50	短期記憶障害にて、貴重品や金銭管理が出来ない方が多い。	お金を使う事の大切さを再認識し、ご本人の喜ぶ表情や共に笑い合える場を作る。	個々の買い物日を決め、好きな物をご自身で買って頂く。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。